

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース											
マリン実習B											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選※	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	千葉公平			実務 経験	有	職種	プロサーファー				
授業概要											
レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。											
到達目標											
各個人の技量にあった技術レベルで、自らの判断、知識、立ち振る舞いを基に自分自身の責任において実習を行える能力を養います。海におけるマナーなど実際に体験をし、波を含む海洋状況や気象変化、他のサーファー、ボディボードの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中で安全に楽しむことを学びます。											
授業方法											
<ul style="list-style-type: none"> ・サーフィン、ボディボードの実習に分かれて実施。人数が多いのであればグループ分けにて実施します。 ・技能レベルの取得のみならず、自然との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます。 ・基本的に個人競技ですが、学生同士が周囲への思いやりを持って楽しい時間を共有できるように行動します。 											
成績評価方法											
成績評価については、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）50%、試験結果（実技試験/中間/期末/定期的な提出物など）50%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。											
履修上の注意											
<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。 ・講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対にとらないようにします。 ・海は気象の変化が激しいため、ウェットスーツ等をできる限り着用します。 ・身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。 											
教科書教材											
特になし											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション：サーフィン、ボディボードについての注意事項、実習行程を理解します。										
第2回	海難事故について：海で起こりうる、事故やケガなどを理解します。										
第3回	サーフボード、ボディボードについて：サーフボード、ボディボードのメカニズム等を理解します。										

マリン実習B

第4回	波について：波のリズムや、カレントのメカニズムを理解します。
第5回	パドリング：沖に出るために必要となるパドリングの技術を習得します。
第6回	パドリングレース①：パドリングの技術を駆使しチームでリレーを行なう事により、自分の技術レベルを理解します。
第7回	スープライディング①：波の力で押される感覚をつかみ、サーフボード（ボディボード）に腹ばいで乗る技術を習得します。
第8回	スープライディング②：波の力で押される感覚をつかみ、サーフボードに立って乗る技術を習得します。
第9回	海と自然①：波の発生原理から、国内外の様々なサーフポイントを見ることによって、海の理解を深めます。
第10回	海と自然②：ゴミなどが及ぼす、海もしくは自然への影響を学び、自分たちの生活について理解を深めます。
第11回	うねりからのテイクオフ①：ポイントまでパドリングで移動し、うねりからサーフボード（ボディボード）で直進する技術を習得します。
第12回	うねりからのテイクオフ②：ポイントまでパドリングで移動し、うねりからサーフボードに立って直進する技術を習得します。
第13回	横に進む技術①：ポイントまでパドリングで移動し、うねりから腹ばいで横に進む技術を習得します。
第14回	横に進む技術②：ポイントまでパドリングで移動し、うねりから立って横に進む技術を習得します。
第15回	パドリングレース②：パドリング、ライディングの技術を駆使しチームでリレーをおこなう事により、自分の技術レベルを深く理解します。